

【2月例会・講演会】 平成20年2月21日(木)／倉敷商工会議所



【講師】株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ
代表取締役 木村 正明氏

【講師】

株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ
代表取締役 木村 正明氏

【テーマ】

「子どもたちに夢を！
晴れの国岡山からJリーグへ」

【プロフィール】

1968年 岡山市生まれ。岡山大付中、朝日高ではサッカー部FW。
1993年 東京大学法学部を卒業しゴールドマン・サックス証券入社。
2006年 執行役員を務めた後、5月に退社。
2006年 7月に株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ社長に就任。
2007年 ファジアーノ岡山FCは、全国地域リーグ決勝大会を優勝し、2008年シーズンからJFL昇格を決めた。



倉敷ライオンズクラブ
藤南和将会長による
倉敷ライオンズクラブのPR



新入会員紹介
倉敷ステーション
ホテル(株)
豊田雅幸さん

ファジアーノは、2003年末に国体強化選手を中心に結成されました。200万人県民でプロサッカーチームがないのは岡山と福島だけです。

私自身は、ゴールドマン・サックスに14年間在籍しました。そこでは、ユダヤ人の考えを学ぶことができました。ユダヤ人は国土を持たない民なので、自分が生まれた故郷に強い想いを抱いています。ユダヤ人は、ほぼ全員、会社を辞めた後故郷に帰ります。

そんな私が、同級生に誘われた時、悩みましたが退路を絶ち、生まれ育った故郷に帰ることを決意したのです。サッカーは、点が入らないスポーツだからこそ面白いと言われていて、イタリアのフーリガン達はサッカー場で酒を飲み、点が入らないとブーイング、点が入ると抱き合っている喜びます。サッカーは、サッカー場で直に見てこそ面白い。Jリーグ100年構想というものがあるって100年後すべての小学校に天然芝で覆われた運動場を目指しています。天然芝だと、環境にやさしい、怪我をしない、子供がゲームをしなくなる、といったメリットがあります。2007年末現在、2100の小学校に天然芝があります。日本で唯一天然芝がない県は岡山です。岡山にプロサッカーチームを作れば、そんな現状が変わっていくと思っています。



お土産を進呈。清正堂特注サッカーボール菓子です。

【第25回全国会長研修会議 長崎塾】 平成20年2月8日(金)～9日(土)／長崎ブリックホール

「長崎塾」感想

◇2月8日(金)◇

会長研修会のため長崎に入る。中学校の修学旅行以来だと思う。路面電車がひっきりなしに往來していて、結構手軽に移動できる印象。

13:30、ブリックホールで会長研修会の開会式。



直前会長 藤南 達夫

15:00から長崎塾が始まる。本年度の会長・次年度の会長・熱意ある会員など、対象別に分かれて研修を受ける。私が参加したのは、「経済再生の灯をともし」というテーマで本年度会長を対象にしたものだった。たまたま振り分けられたのが、人材育成を切り口に、若手官僚を交えて意見交換をするテーブルだった。三斎市のなかで、倉敷商業高校の生徒が大きな役割(出店・ポスターづくりなど)を担ってくれるようになった事例を紹介していた。ただあまりに短時間で、十分な意見交換ができなかったのが残念。

続いて、三菱重工長崎造船所資料館の見学。戦艦武蔵の資料や昔の造船所の写真、風力発電の翼の一部など、いろいろなものが取り揃えてあり、意外にも飽きなかった。

19:00から懇親会。今回は懇親会も、会長・次年度会長・熱意ある会員などに分かれての開催。岡山県内YEGの会長と同じテーブルを囲んで、賑やかに過ごす。各会長とも、年度末が見えてきて穏やかな表情をしている印象。

今年の特徴は、全員が同じ会場で講師の話を聞くプログラムが少なく、少



メイン会場前にて

人数で当事者意識を持たされる内容が多かったこと。これはこれでいいやり方だと感じた。ただし同じ単位会から参加したメンバーとは別行動になる時間が長く、これが短所といえは短所だが、1日くらいこういうことがあってもいいのではないかとというのが私の感想。

懇親会が終わってホテルへ戻り、井上副会長・上西委員長・福川副委員長と合流して二次会へ繰り出す。上西委員長は長崎出身とあって、段取してくれたホテルは繁華街のど真ん中。格好の立地だった。「その割りに道に迷うことが多かった」というのが福川副委員長談。



ご兄弟?と再開

◇2月9日(土)◇

2日目は長崎塾の総括と会員総会。会員総会の中で、ビジネスプランコンテストの表彰、YEG大賞の表彰が行われた。日本YEGのホームページに他YEGのさまざまな取り組みが紹介されているらしいので、いちど目を通してみたいところからの参考になるかも。また、三斎市もYEG大賞にノミネートしてみたらどうだろうと感じた。

総会では規約の改正が行われた。日本YEGの目的に、「商工業の振興」ということが明記された。地方経済が疲弊しているという意識のもと、親睦・交流だけでなく政策提言なども行いながら商工業の振興を図っていくという強い意識の表現だと受け止めた。原田会長も議案を上程する際の厳しい表情が印象的だった。

最後に原田会長の挨拶と、次年度体制の紹介が行われ、13:30に閉会した。原田会長も感極まってことばに詰まる場面も。お疲れさまでしたと申し上げたい気持ち。

駆け足で平和記念公園を見て、長崎を後にした。14:30に長崎を出て、18:05に岡山に到着。意外に近いという印象。